

令和6年度なかまの家地域連携推進会議会議録

日時：令和6年10月15日（火）10：00～12：00

場所：なかまの家会議室

参加者：地域連携推進員（入所者代表（男性寮）、保護者代表（女性寮）、地区総代、民生委員、行政関係者） 事務局（なかまの家施設長、サービス管理責任者） 計7名

■地域連携推進会議の概要について（施設長）

- ・4つの目的（①利用者と地域との関係作り、②サービスの透明性、質の確保、③地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、④利用者の権利擁護）を達成するために、施設による会議の開催と構成員による施設訪問を行う事を説明しました。

またより具体的に会議を進めるため、事業所独自の要領を作成し、これに沿って進めて行くことを報告させていただきました。

（地域連携推進員より質問等）

- ・任期については、どのように考えているのか？
⇒ 再任の妨げはありませんが、できるだけ多くの方から知って頂くことが目的の一つでもあるので1年任期でお願いしたいと思います。また可能であれば年度末に後任を選出していただければありがたいと考えています
- ・会議録の公表についてホームページ等への掲載と話があったが、高齢の方々はホームページを見る機会がありません。十日町福祉会の広報誌のように地区の回覧板を活用するなど工夫をお願いしたい。
⇒ ホームページへの掲載や保護者説明会での説明のほかに、法人の広報誌配布の機会に配布が可能かどうか法人本部に確認する事と周知を図る地域や対象者の範囲について今後検討させていただきます。

■令和6年度なかまの家上半期の状況について（4月1日～9月30日）

（施設入所・生活介護事業）

- ・現在38名の方が入所しています。
- ・また36名の方が日中のサービスを利用していますが、中には外部の事業所に出かけている方もおります。

（日中一時支援事業）

- ・十日町市、津南町から日中一時支援事業を委託しており、上半期で20回の利用がありました。在宅で過ごされている方を対象として、土日祝日の日中に利用頂いています。

（短期入所事業）

- ・短期入所については99回の利用がありました。冠婚葬祭等、ご家族の都合によるものや居場所がなくなった方の受入れを行いました。

（入所者状況）

- ・上半期は1名の入所があり、退所者はありませんでした。
- ・18歳から80代の幅広い年齢層の方が生活しており、平均年齢は約51歳となっています。

- ・入所となつてから約18年の平均在籍期間となつています。
- ・入院については柏崎市の病院に内服調整の為、40日間入院された方がいました。
- ・33名の職員体制となつており、とりわけ支援員については20名で入所者の24時間365日を支えています。また嘱託医が月1回往診に来園されて内服など医療面のサポートを行つて頂いています。

(なかまの家目標)

- ・今年度の目標についてポイントだけ説明させていただきます。
まず地域連携推進会議の設置を上げさせていただき、今回初開催という形で開催させていただきました。今後会議録を作成して情報共有を図り、頂いたご意見を反映させていきたいと考えています。また短期入所事業において、十日町市と緊急短期入所の受入れ事業所として登録させていただきました。

(事業活動上の重要事項)

- ・なかまの家で発生した事故について、上半期は計11件の事故がありました。
内訳としては一度服用頂いた薬が口からこぼれて床に落ちている誤薬事故が多く、次に施設の外に出ていく事故が見られました。いずれも大事には至らず、状態にお変わりなく経過しています。
- ・苦情はありませんでした。
- ・身体拘束については居室の施設対応が2件、ミトン(指を覆う手袋)の着用が1件の計3件ありました。転倒による事故を予防する為夜間帯のみ施設対応させて頂いた件と新型コロナウイルス陽性となり、感染症まん延を防ぐためやむを得ず施設対応とさせて頂きました。ミトンについては、衛生状態を保持する為や他害(他の入居者を傷つける行動)を少しでも減らす目的で使用させて頂きましたが、会議の結果現在は使用を終了しています。
- ・ボランティアの状況ですが、3件の受入れがありました。日赤奉仕団の皆様から入所者の活動や草取りにご協力を頂きました。
- ・次に施設内研修ですが、感染症対策研修として防護服(ガウン、マスク、フェイスシールド、ハット、プラスチックグローブ)の着脱訓練と共に実施しました。他に法人が計画する様々な研修に取り組んでいます。
- ・防災訓練については、消防法等関連法に基づき、通報訓練、消火訓練等行っています。下半期についても計画に基づいて訓練を予定しています。
- ・実習生の受入れについては、保育実習を1件受け入れました。下半期は保育士と介護福祉士の実習を受け入れる予定です。

(地域連携推進員からの質問及びなかまの家からの回答)

- ・上記報告に質問内容についての回答を含めさせて頂きました。(例:ミトン⇒指を覆う手袋)

■訪問の結果について

- ・地域連携推進員よりなかまの家を訪問頂きました。その結果についてご意見を頂きました。
- ・夕食時に訪問させて頂きました。当初にぎやかな状況を予想していましたが、思いのほか静かでした。年配の方から若い方がいらっしゃいました。
何度かお邪魔していますが、増設の関係かと思いますが自分がどこにいるのかわからなくなりました。災害等を考えると定期的に消防団との連携をお願いできたらと思います。

- 施設とはこのようなものだという感覚かもしれないが、刑務所のような印象でした。(鍵を各所に付ける環境設定) それが良いといった場合もあるかもしれないが、自由に出入りができるなど、そういうものを大切にしたいとも考えています。

また、ボランティアなど人の手が必要なことがあれば、どのような仕事が必要なのか明らかにしてもらえれば何かしらできることがあるように思います。それが明らかになれば例えばシルバーの活用なども検討頂ければと思います。

- 施設全体として、きれいに保清が保たれていたように感じました。掃除のシルバーさんが入っていることがそれにつながっていると思います。

今年(男性寮) ホールにも空調が入り良くなったと話を伺いました。

入所者が施設外に出る場所が2か所と決まってるそうで、例えばその2か所に鍵のほかにセンサーを付けるなどの対応はいかがでしょうか？

食事の際に盗食(他入所者の食事を食べる行動)があり、その方の見守りをしながら誤薬予防のために服薬を飲み込むまで確認するなど確認する所が多く、対応の難しさを感じました。職員は良くやっていると思います。

雪に覆われると避難経路が1か所に限られてくるため、今後なかまの家の移転の際には検討頂きたいと思いました。

たまたま入所者の発作の場面に立ち会いました。職員を見ていると落ち着いており良い対応だと感じました。

パソコンが2台設置されており、職員がかわるがわる記録をしているようですが、職員数の多さを考えると、パソコンの台数を増やすなど工夫を考えて欲しいと思いました。また職員から記録を入力していると他の職員から休んでいると思われるのではないかと心配する声もありました。記録も仕事の内だと思いますので、ぜひ職員間で共通認識としてお願いできたらと思います。

- 建物の構造が非常に古く、いくつか気になった箇所がありました。

階段が多く大変だなあと感じました。一部床に傾斜がついており、つまずきや転倒の心配がありました。増設の関係など様々な部分で色々あったのだらうと思います。

現在なかまの家の移転の話がありますが、ぜひ職員の意見を聞いて対応をお願いしたいと思います。

また以前のなかまの家の職員は「ゆとり」があったように思います。職員の皆さんがゆとりを持って対応してもらえたらと思います。

- 男性寮のボイラーが壊れており、お湯がぬるいです。何とかしていただきたい。

特に食事の後に服装の汚れがあるようです。何とかしていただきたいです。

入所者同士のけんかがあります。考えて欲しいです。

職員からせかされる事があります。忙しいかもしれなし、(入所者が)できない事もあるかもしれませんが、気をつけて欲しいと思います。

(施設からの回答)

- まずは推進員の皆様から貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。
- 冬期の避難経路や消防団との連携につきましては、今年度地域の消防団の皆様と話し合いの機会を持たせていただきました。その中で降雪時の2月頃に避難経路を実際に消防団の皆さんから来

園して確認頂き、助言を仰ぐ計画となっています。今後も消防団との連携を意識していきたいと考えています。

- なかまの家移転の話が出ています。現時点では用地として国保川西診療所の敷地内に移転する予定となっています。現在十日町市、津南町の関係者と協議を重ねている状況です。避難経路や環境など、頂いたご意見を生かして行きたいと思えます。
- 施錠の件につきましては、行方不明や苦情を頂くなど様々な経過があり現在の施錠対応となっています。しかしながら職員の間から、今年度立ち上げた職場環境改善委員会の中で施錠についての振り返りをしてはどうかとの意見がありました。今後も入所者の権利擁護について検討していきます。また職員はよくやっているとのお話をいただきました。引き続きこの職場環境改善委員会でも働きやすい環境などを話し合っていきたいと考えています。
- 記録担当を設け、記録時間を決める等の工夫を行い、記録時間を仕事の一つとして職員間で共有が必要との助言を頂きました。各部署の会議で周知を図らせて頂きます。
- 男性寮浴槽のボイラーが機能しておらず大変申し訳ありませんでした。至急対策を検討していきます。
- 服装の汚れについても、各部署の会議でどのようにしたら改善できるか、検討させていただきます。
- 入居者同士のけんかについては、環境設定などや、発生時は職員が間に入るなどの対応を行っています。またこだわりが強く、その行動を行わないと気がすまない自閉症の方がおり、他入所者とよくトラブルとなっていました。今年度から「自閉症 e サービス」の講師を招いて研修を進めた所、落ち着いて過ごす事ができるようになり、それと共にトラブルも減った事例もありました。今後も研鑽を重ねて行きたいと思えます。
- 職員からせかされるとの指摘がありました。大変申し訳ありませんでした。今後会議にあげて職員で対策を検討します。
- 今回様々にご指摘、助言を頂戴しました。
初めての開催でしたが、皆さんから職員はよくやっているとの話がありました。今回は初開催でもあり、まずは一歩目となります。引き続き取り組みを進め、なかまの家がより良いものになるようご協力をお願いできればと思います。ありがとうございました。